

「赤レンガ保存」をめぐる

緊急リレー・トーク

資料代
500円

3月25日(土) 17:00~19:30

(16:30~17:00「中高生による広報ワークショップの記録映写会」)

会場：山崎製パン総合クリエイションセンターセミナールーム

市川市市川3-23-27(JR市川駅より徒歩15分 京成国府台駅より徒歩5分 市川駅⇄松戸駅・同前バス停あり)

第1部 17:00~18:00

「中高生による赤レンガ広報ワークショップ」成果発表

昨年10月、県内40名の中学・高校生が参加して、赤レンガの建物を見学し、「自分なら、赤レンガをどのような方法で県民に知らせ、またどのように活用していくか?」というテーマでワークショップを行いました。

その成果がB5パンフレットになりました。これを赤レンガの保存に、そして教育に、どのように活用していくかを話し合います。

ゲスト:WS参加の中学生・高校生たち **:木下勇(千葉大学園芸学部教授) (予定)**

第2部 18:00~19:30

「赤レンガ保存」をめぐる緊急リレー・トーク

本年1月、市川市長は「旧血清研跡地の取得を断念した」と発表しました。「県に保存を要望していく」と表明したちょうど1年後の突然の断念表明です。

県は「市に土地を売却するためには、敷地全体を公共活用する必要がある、建物などは現状のままで一括処分する」方針です。市川市はこの「公共活用プラン」を打ち出せなかったようです。これで、「赤レンガの保存と活用」という課題は大きく後退したかに見えます。

こうした事態を受けて、私たち市民はどう対処し行動すべきか?「貴重な戦時文化遺産の保存と有効活用」という夢をどう実現していくべきか? 多くの市民の主張をリレートークしていきます。

県と市の担当者をうならせるような「保存と活用プラン」が生まれればと願っています。

赤レンガをいかす会

〒272-0824 千葉県市川市首野1-1-23 (NPO法人いちかわ文化ネットワーク内) TEL&FAX 047-369-7522